

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 人々の移動に関する実空間情報をリアルタイムに形成するための  
データを目利きできるネットワーク AI

2. 個人研究者名

新熊 亮一（芝浦工業大学情報工学科 教授）

3. 事後評価結果

将来的な交通量の増加に伴い、道路交通網などにおける事故や犯罪が増大することが懸念される。実空間情報把握の精度に寄与するデータのみをリアルタイムに取得するシステムを開発することで、事故や犯罪に対する予防や迅速な対応が可能な社会の実現を目指した。

データ重要度に基づいた制御手法の確立など、学術的に優れた成果を挙げただけでなく、特許の取得、企業と共同の実証実験の開始、大学発新産業創出プログラム SBIR フェーズ I 採択など、社会実装に積極的に取り組んでいる点が高く評価できる。

スマートシティ実現に向けて、今後も社会実装を継続してほしい。実現可能性を高めるため、環境変化や攻撃に対するロバスト性の評価、他のセンサとの組み合わせ試験など、基盤技術の深掘りを行うことにより適用領域がさらに広がると期待できる。